

中国：人権弁護士 高智晟さんに支援を！

人権弁護士の高智晟（Gao Zhisheng）さんは一昨年8月、陝西省の自宅から当局に連行されたまま、連絡が取れない状況が続いています。北京の警察施設で拘束されているらしいことは分かりましたが、詳細はいまだに不明です。逮捕の2カ月前に受けた香港の雑誌インタビューで、中国共産党と習近平国家主席を批判したことが、逮捕に関係があるのではないかとされています。



高さんは中国を代表する辣腕弁護士でしたが、2005年に人権活動家多数を弁護したためか、弁護士資格をはく奪されました。それでもいろいろな形で、活動家たちの支援を続けたため、投獄を繰り返され、収監中は拷問を受けました。

これまでの経緯からみて、拘束が長引けば、命に関わる事態が起きないとも言えません。高さんが一刻も早く自由の身となるよう、中国政府に早急な釈放を求めてください。

以下の送り先と本文をご利用ください。ぜひ、ご協力をお願いします。

Minister of Public Security, Zhao Kezhi
14 Dongchanganjie, Dongchengqu
Beijing Shi 100741
People's Republic of China
Email: gabzfwz@mps.gov.cn

Dear Minister Zhao,

I call on you to immediately release Gao Zhisheng if he has been detained solely for exercising his right to freedom of expression.

キルギス：アサロフさんに応援メッセージを！

人権を擁護する活動に取り組んできたアジムジャン・アサロフさんは、ねつ造されたと疑われる容疑に基づく不当な裁判で終身刑を受け、首都ビシュケクの刑務所に収監されていました。収監中は、虐待や拷問を受け、体調は悪化していると言われていました。

そんな中、3月中旬、遠隔地にある特別収容所に移されました。この刑務所は、自宅のあるバザー・コーゴンから500キロも離れているため、家族が面会するときには長時間の移動を強いられることになりました。さらにこの刑務所では、受け取る荷物は年6個まで、面会は年3回まで、電話は年2回までという厳しい制限が設けられています。ただし、郵便物だけは受け取りに制限がありません。

この郵便物に制限がないことを利用して、アサロフさんに激励のメッセージを送りましょう。終身刑の上、流刑のような扱いを受け、絶望の淵にいるアサロフさんを勇気づけましょう。

下のメッセージを切り取って葉書に貼り付け、切手70円分を貼り、ポストに投函するだけです。ぜひ、1人でも多くの方のご協力をお願いします。



葉書の送り先

Azimjan Askarov
Ispravitelnoe Uchrezhdenie No. 19
s. Zhany-Zher Sokulukskii Raion
Chuiskoi Oblast Kyrgyzstan

メッセージ

Мы думаем о Вас! Желаем Вам сил в борьбе за справедливость
(あなたを応援しています。無罪放免まで強い気持ちで)

ロシア連邦：良心の囚人ミハイルさんが保釈

良心の囚人、ミハイル・ツクノフさんが4月26日、1年近くの拘束を解かれ、保釈されました

活動家のツクノフさんは昨年5月5日、プーチン大統領の再選に抗議する集まりに参加しました。抗議の象徴である黄色のアヒルの風船を持っていた時、突如、警官5、6人に襲われ、抵抗する間もなく手足を抱えられ、連行されたのです。参加者の一人が撮影したビデオが、その時の一部始終を捉えていました。この[動画](#)から、警官が一方的にツクノフさんを襲いかかり、有無を言わず連行したことは明らかでした。

にもかかわらず、ツクノフさんはその後、警官への暴行というねつ造された容疑で起訴されてしまったのです。あまりに不当な逮捕と起訴ですが、もし有罪なら最高10年の刑を受けます。

今回、1年以上も勾留されてきたツクノフさんが、ようやく保釈されました。アムネスティが求めてきた無罪釈放ではありませんが、一つの前進と言えます。

一方、昨年7月から始まった裁判の行方は、予断を許しません。アムネスティは引き続き裁判を注視し、事実に基づく公正な裁判で無実が言い渡されることを強く願っています。

アゼルバイジャン：活動家が釈放されました

警官の命令に刃向かったとして3月末に拘束され、30日間の行政拘禁(行政が裁判なしに拘禁する制度)を受けていた民主活動家のパイラム・マンマドフさんが4月29日、釈放されました。

4月2日の不服申し立て審査では、拘束中に暴行を受けたと訴えたマンマドフさんの顔には明らかに殴られた跡があったにもかかわらず、申し立ては退けられました。そもそも逮捕前、警官の命令に抵抗したという警察の言い分も根拠もなかったのですが、鵜呑みにされ、30日間の拘禁命令が下されたのでした。

国の民主化を求めてきたマンマドフさんは、2016年にも逮捕されて有罪となり、今年3月に釈放されたばかりでした。この時もねつ造された容疑で起訴され、有罪となり、3年余り収監された後、3月16日に大統領恩赦でようやく釈放されたのです。

同国の行政拘禁は、期間切れ直前にそれらしき理由を付けた更新を繰り返されることが多く、政権に批判的な人たちを長期間拘禁する手段として利用されています。しかし今回は、アムネスティのUAを始め、世界で巻き起こった釈放を求める声が、更新を阻止したと言えます。

アクションに参加したすべての皆さんに感謝いたします。

ミャンマー：人権活動家が釈放されました

3月29日に人権活動家のティンマウンチーさんが釈放されました。予定より13日早い、6カ月と3日後の釈放でした。

ティンマウンチーさんは、昨年9月28日、国軍の上級將軍の逮捕を国際社会に訴えたため、刑法と平和的な集会に関する法律に違反した罪で有罪となり収監されていました。

2つの罪で計6カ月半の刑期だったのですが、刑務所内での素行が良かったことなどで減刑され、早期の釈放となりました。もっとも、表現と集会の自由の権利を行使しただけで自由を奪われたことが不当だったという事実は消えません。

アクションに参加したすべての皆さんに感謝いたします。

UA ニュース

発行:アムネスティ・インターナショナル日本
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F
TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778
E-mail:uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費 3000円
郵便振替 00120-9-133251
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本